

# 2023ピースアクション in TOKYO &ピースパレード開催報告

主催：「2023ピースアクションin TOKYO」実行委員会

一般社団法人東友会(東京都原爆被害者協議会)、特定非営利活動法人 東京都地域婦人団体連盟、東京都生活協同組合連合会平和活動連絡会

協力：日本生活協同組合連合会



4月16日(日)東京ウィメンズプラザホールにて開催し、小学生や高校生も含め、98名が会場に集いました。また同時に実施したオンラインでのライブ配信には21名、後日動画視聴には29名の申込がありました。当日は広島市・長崎市両市長からのビデオメッセージの後、核兵器の現状と課題についての学習講演、続けて参加団体・生協による平和の取り組みのリレートーク、最後に平和と核兵器廃絶へのアピール文を朗読し、拍手で採択され閉会となりました。そして今年4年ぶりとなるピースパレードを実施し、道行く多くの人々に核兵器廃絶と平和な世界への願いを広くアピールすることができました。



コープみらい杉田佳寿子さんから「くらしの土台は平和です。争いのない平和な世界をめざして核兵器廃絶への願いを今年も東京から世界へ向けて発信していきましょう」と、お話しいただき、ピースアクションはスタートしました。

司会：東友会  
村田未知子さん



開会挨拶：コープみらい  
杉田佳寿子さん



広島市長 松井 一實氏



長崎市長 田上 富久氏

来賓としてご出席いただいた、広島・長崎両市の東京事務所長のご紹介、続けて広島市長、長崎市長からのビデオメッセージを上映しました。両市長からは、今後も核廃絶と恒久平和実現に向けて共に力を尽くし発信していくことを表明されました。



日本反核法律家協会会長  
大久保賢一さん

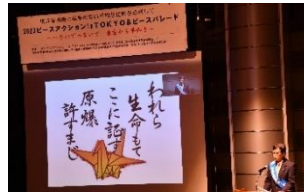
## 核兵器も戦争もない 未来に向けて～現状と課題～

弁護士の大久保賢一さんによる学習講演では、核兵器の総数は減少し続けている一方で、各国は兵器の質的向上を進めており、世界がこの40年で最も高い核のリスクに直面している。核兵器使用を避けることは国際社会の「公理」であるにも関わらず、核兵器保有国や日本は核兵器の必要性和有用性を認めている「核抑止論」についてどのように考えるべきか、わかりやすく説明していただきました。参加者からは「終末時計が進んでしまったこと、核戦争に勝者はない、核戦争は戦ってはならないということを改めて心に刻みました」という声が寄せられました。



## 参加団体によるリレートーク

平和の大切さを伝える取り組みについて各団体・生協から報告がありました。参加者からは「さまざまな団体が心から平和を望んで、自分たちで何ができるかを考え、実践していることが分かりました。」との声が寄せられました。



【参加団体】コープみらい/パルシステム  
東京/東都生協/東京保健生協/大学生協  
(十文字学園女子大学生協)/日本生協連  
/東京地婦連/東友会



4年ぶりのピースパレードは快晴のなか表参道を通って渋谷駅方面に歩きました。日曜日のお昼時でもあり、多くの人々にアピールすることができました。

4年ぶりのピースパレード

## 核兵器廃絶に向けた アピール文の朗読・採択

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を強く求め、核兵器廃絶を訴え続けることを誓うアピールを朗読し、拍手で採択されました。



アピール文朗読：東京地婦連  
山下陽枝さん

## 参加者の声

- ☆核の脅威が増している今、多くの方に参加してほしい貴重なイベントだと思います。
- ☆広島・長崎の市長によるメッセージからも、平和への願いが強く感じられました。
- ☆ピースパレードは晴天の中、街を歩く人達に平和への思いを直球で伝えることができたと思います。